

世界史

(問題)

2013年度

〈2013 H25071119〉

注意事項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 試験開始後、マーク解答用紙については、受験番号を確認したうえ所定欄に氏名のみを記入すること。
5. マークははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	☒ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い
マークを消す時	☐ 良い	☐ 悪い	☐ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の1・2の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。解答はすべて、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

1 6世紀には、西ゴート王国がトレドに都を置き、イベリア半島の大部分を掌握していたが、**A**にはイスラーム教徒のウマイヤ朝勢力がイベリア半島に侵入し、西ゴート王国を征服する。半島ではイスラーム教徒とキリスト教徒との確執は避けられない状況にあった。宗教的な対立が続く中、キリストの十二使徒の一人である聖ヤコブの墓が現在の**B**で発見されたとの噂から巡礼が始まり、**B**はローマ・イエルサレムと並ぶ三大巡礼地として多くの巡礼者を集めた。聖地巡礼熱はイベリア半島におけるレコンキスタ（国土回復運動）を激化させる一つの要因でもあった。レコンキスタの過程で、15世紀後半にはカスティリヤ王国・アラゴン王国・ポルトガル王国・**C**、そしてイスラーム王朝であるグラナダ王国が半島に割拠していた。カスティリヤ王国とアラゴン王国は合併してスペイン王国となり、1492年にはグラナダ王国を滅ぼした。その後スペイン王国は、海外進出に力を入れた。スペイン人は中南米で**D**とよばれる征服者としてアステカ帝国やインカ帝国を征服すると同時に、鉱山を開発し、さらに遠距離貿易を活発化させた。当時、スペインはポルトガルと海外の新天地をめぐる争っていたが、1529年に両国間で結ばれた**E**によって両国の勢力範囲が確定した。

2 15世紀中葉から後葉にかけて幕を開けたいわゆる大航海時代^①は、ヨーロッパの社会的・経済的發展にとって決定的に重要な契機となった。そこでは多くの探検家や航海者の活躍があったが、ポルトガルでは、「航海王子」エンリケなどによって新天地の開拓事業が進められ、とくにインド航路の開拓は香辛料による莫大な利益を王室にもたらした。ポルトガルに後れをとったスペインもまた、コロンブスの船団を派遣するなどして、海外飛躍に乗り出した。そして1519年、ポルトガル人でありながらスペイン王室の命を受けたマゼランは、船団を率いてモルッカ諸島への西回り航路開拓に出発した。その航海途中、マゼラン自身は住民の抗争に巻き込まれてフィリピン諸島のマクタン島で命を失うが、船団の1隻が1522年にスペインに帰国し、史上初の世界周航を遂げて、地球が球体であるとする説が証明された。やがてスペインは、メキシコのアカプルコとマニラを結ぶ太平洋航路を開拓してアカプルコ貿易をほぼ独占し、新大陸とアジアにまたがる一大交易網を築くようになった。^⑤

設問X 1の問題文の**A**～**E**に入る最も適切な語をa～dの中から一つ選びなさい。

- | | | | | |
|---|------------------|----------|-------------|----------|
| A | a 632年 | b 711年 | c 732年 | d 870年 |
| B | a パロス | | b セゴビア | |
| | c サンチャゴ＝デ＝コンポステラ | | d マドリード | |
| C | a レオン王国 | b セビリア王国 | c アストゥリアス王国 | d ナバラ王国 |
| D | a クリオーリョ | b マラーノ | c コンキスタドール | d ペオン |
| E | a トルデシリャス条約 | b リスボン条約 | c テイルジット条約 | d サラゴサ条約 |

設問Y 2の問題文中、下線部①～⑤に関する以下の問いに答えなさい。

- ① この大航海時代の歴史的意義に関する説明として、誤っているものを1つ選びなさい。
- a 海のネットワークが構築されて世界の一体化が始まり、ヨーロッパ世界における資本主義経済の発達を促した。
 - b 航路の開拓によってイスラーム文化がヨーロッパのみならずアジアにも伝播し、インドではこの文化を基盤とするデリー＝スルタン朝が奴隷王朝のあとを受けて成立した。
 - c 遠隔地貿易とヨーロッパ経済の中心が地中海諸国、とくに北イタリア諸都市から大西洋沿岸諸国に移った。これを「商業革命」という。
 - d 大航海時代を支えた技術的・物理的要因のひとつとして、北欧の横帆船と地中海地方の三角帆船を融合させたカラック船がある。

- ② これら探検家や航海者とその出身国（現在国名）および探検・発見地の組み合わせとして、誤っているものを1つ選びなさい。
- a バルボアー・オランダー・パナマ地峡
 - b カボット・イタリヤ・ニューファンドランド
 - c ヴァスコ＝ダ＝ガマ・ポルトガル・インド
 - d カブラル・ポルトガル・ブラジル
- ③ 香辛料に関する説明で、誤っているものを1つ選びなさい。
- a 胡椒や丁子（丁字）などのアジアの香辛料は、中世にはムスリム商人がインド洋におけるその交易をほぼ独占していた。
 - b 香辛料の特産地であるモルッカ諸島は、セレベス（スラウェシ）島とニューギニア島の間に位置する。
 - c 10世紀にジャワ島に成立したクディリ朝は、豊かな農業生産と香辛料貿易によって栄えたとされるが、13世紀にシンガサリ朝によって滅ばされた。
 - d 1509年のディウ沖海戦は、アラビア海の制海権と香辛料交易の独占を狙ったポルトガルの艦隊が、イスラームのアチェ王国艦隊を撃破した戦いである。
- ④ 地球球体説に関する説明で、誤っているものを1つ選びなさい。
- a フィレンツェの天文・地理学者トスカネリ（トスカネリ）が唱えた説で、コロンブスが大西洋航路を選択する際の根拠のひとつになったとされる。
 - b 地球が球体であることは、前3世紀に北アフリカのギリシア植民市キレネに生まれた、天文学者のエラトステネスがすでに看破していた。
 - c 2世紀のギリシア人数学・天文学者で、『天文学大全』を著したプトレマイオスは、球体としての地球を中心とする天動説を唱えた。
 - d コペルニクスの『天球回転論』はその死後に上梓されたが、そこで彼が提唱した天動説の論拠となったのは、アリストコスの「太陽中心説」とケプラーの「3法則」だった。
- ⑤ アカプルコ貿易に関する説明で、最も適切なものを1つ選びなさい。
- a この貿易は15世紀に建造された大型帆船のダウ船を輸送に用いたところから、別名ダウ貿易とも呼ばれる。
 - b マニラと並んでこの貿易のアジア側の起点となったバンテン王国は、胡椒交易で栄えたキリスト教国で、16世紀以降、スペインによる東南アジア経営の拠点となった。
 - c この貿易で取引されたものとしては、アカプルコからマニラへのメキシコ銀、マニラからアカプルコへの中国産絹織物・陶磁器などがある。
 - d 1600年に設立されたオランダの東インド会社は、スペインの影響力を駆逐してこの貿易網をアジア全域に拡大し、オランダに繁栄をもたらしたが、フランスの東インド会社同様、18世紀前半に解散した。

II

次の1・2の文章を読み、設問X・Yに答えなさい。

- 1 マレー半島とスマトラ島の間にあってインド洋と南シナ海とをむすぶマラッカ海峡は、紀元前より現在にいたるまで東西海上交通の要衝である。数千年にわたって、マラッカ海峡を通過して中国およびインドの方面にどれほどの人や文物が往来したことであろうか。^①この海峡と沿岸の主要な海港都市の一つであるマラッカを支配して繁栄した代表的な国として、(1) とマラッカ王国があげられよう。そして16世紀以降、アジアに進出したヨーロッパ人も、この海峡の重要性に着目した。1511年、マラッカ王国を滅ぼしたポルトガルは、この地にアジア経営の拠点を置き、おくれて進出したオランダも、1641年にポルトガルからマラッカを獲得した。しかしナポレオン戦争中から、この地を支配したイギリスは、東南アジア経営の拠点としてシンガポールを選び、そこに新市を建設したため、マラッカの繁栄は終焉を迎えることとなった。ただしマラッカ海峡の重要性は、19世紀後半の(2)の完成によってますます増大し、その役割は、今日いささかもかげることはない。シンガポールがいわゆる自由貿易港として繁栄を享受する、その基本的な構造は往時と変わるところがないのである。^②
- 2 東アジアにおける勢力拡大をめざしたロシアが日露戦争に敗北すると、その関心はふたたびバルカン半島に向けられるようになった。この新たな動きに対してヨーロッパでは、イギリス、フランス、ロシアが友好関係を強化し、しだいにドイツ、オーストリアなど対立を深めるようになった。^③このような状況に応じてオスマン帝国でも政治的な変動がおり、(3)年に首都のイスタンブルを中心に青年トルコ革命が勃発した。これによってオスマン帝国が動揺し、その隙に乘じたオーストリアがドイツ帝国の支持をとりつけて、ボスニア・ヘルツェゴヴィナの併合を断行すると、それに反発する勢力はロシアの支持を得てバルカン同盟を結成した。そののち、同盟国はオスマン帝国と開戦したが、それに大国がさまざまな形で介入し、また同盟内部の対立も激化し、2度にわたって戦争がおこなわれた。^④そして1913年、ようやく終戦を迎えたが、バルカン半島の情勢は安定せず、遠からずして、この地で第一次世界大戦を引き起こす事件が勃発するのである。^⑤^⑥

設問X 空欄(1)～(3)に入れるのに最も適切な語をa～eのなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|---------------|----------|----------|--------|--------|
| (1) a 占城 | b 大越国 | c 西山朝 | d 三仏齊 | e 真臘 |
| (2) a バグダード鉄道 | b スエズ運河 | c シベリア鉄道 | | |
| d パナマ運河 | e 大陸横断鉄道 | | | |
| (3) a 1904 | b 1905 | c 1906 | d 1907 | e 1908 |

設問Y 下線部①～⑥に関する設問について、最も適切な解答を(ア)～(オ)のなかから一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① マラッカ海峡を通過していない人物または艦隊はどれか。
 (ア) ペリーの東インド艦隊 (イ) フランシスコ＝ザビエル (ウ) 鄭和の南海遠征艦隊
 (エ) ブラノ＝カルピニ (オ) バルチック艦隊
- ② シンガポールに関する説明として誤りを含むものはどれか。
 (ア) イギリス人ラッフルズがジョホール王から買収した土地に、新たに建設した港湾都市から発展した。
 (イ) 東南アジアにおけるイギリスの最大の拠点となり、広大な軍港を中心とする軍事施設が建設された。
 (ウ) 「白人帝国主義からのアジアの解放」を旗じるしに大東亜共栄圏の建設をめざした日本によって占領された。
 (エ) 1965年、マレーシアから分離・独立した共和国の初代首相にリー＝クアンユーが選出された。
 (オ) 1999年、東南アジア諸国連合に参加することになり、これによってASEAN10が実現した。

- ③ 日露戦争中および戦後の朝鮮半島・北東アジアに関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 日露関係を調整するためハルビンを訪問した伊藤博文が、義兵闘争の指導者に暗殺された。
 - (イ) 大韓帝国皇帝が派遣した使節はハーグ万国平和会議に出席し、日本の内政干渉を世界に訴えた。
 - (ウ) 桂・タフト協定によって、日本の朝鮮に対する、米のフィリピンに対する優越権を相互に承認した。
 - (エ) 日本は韓国を併合して漢城を京城と改名し、軍事・行政のすべてを統轄する朝鮮総督府を置いた。
 - (オ) 日本は大韓帝国からロシアの勢力を駆逐し、第2次日韓協約にしたがって漢城に統監府を設置した。
- ④ この国際関係に関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) 英仏協商は、英のエジプトにおける、仏のモロッコにおける優越権を相互に承認するものである。
 - (イ) 三国同盟は、イタリア＝イレデンタをめぐる伊墺両国の対立によって第一次世界大戦中に崩壊した。
 - (ウ) 三国協商は露仏同盟、英仏協商、英露協商によって形成された英・仏・露の外交や軍事の提携関係をいう。
 - (エ) 三国同盟の中核となったドイツとオーストリアの同盟は、第一次世界大戦後も継続し、両国の絆を深めた。
 - (オ) 英露協商は、イラン・アフガニスタン・チベットなどにおける両国の勢力範囲を決めた協定である。
- ⑤ 青年トルコ革命に関する説明として誤りを含むものはどれか。
- (ア) スルタンの専制に反対して結成された「統一と進歩のための委員会」がおこした革命である。
 - (イ) 「青年トルコ」が組織した内閣はやがて独裁化し、ドイツ・オーストリアとともに第一次世界大戦を戦った。
 - (ウ) ロシアとの開戦を口実に、アブデュル＝ハミト2世が停止したミドハト憲法を復活させた。
 - (エ) 青年トルコ革命は、日本の対ロシア戦争の勝利やイランの立憲革命などが影響したといわれる。
 - (オ) 青年トルコ内閣は、カリフ制を廃止し、信仰の自由や女性の地位向上などの改革を推進した。
- ⑥ この戦争に関する説明として正しいものはどれか。
- (ア) バルカン同盟は、1910年にセルビア・ブルガリア・モンテネグロ・ギリシアによって結成された。
 - (イ) 第2次バルカン戦争でトルコに勝利した同盟軍は、領土の配分をめぐる対立し、再戦した。
 - (ウ) 伊土戦争で混乱するトルコに対してバルカン同盟が宣戦し、第1次バルカン戦争がはじまった。
 - (エ) 第1次バルカン戦争に参戦したルーマニアは、ブルガリアとマケドニアから広大な領土を獲得した。
 - (オ) ブルガリアは、バルカン半島の領土の大半を喪失したオスマン帝国とともに、ロシア側に接近した。

III

古代・中世世界の宗教に関する次の文章1・2を読み、下の設問X・Yに答えなさい。

- 1 古代エジプト人の宗教は多神教で、王は太陽神ラーの子と考えられ、王自身もまた神であった。エジプト人は靈魂の不滅を信じてミイラをつくり、**A**と呼ばれる冥界の王による死後の審判に備えて「死者の書」を残した。古代ペルシア人の信仰したゾロアスター教は、善神アフラマズダと悪神アーリマンとを対立させる、善悪二元論に基づいた宗教であった。また火や光を崇拝したので拝火教とも呼ばれたが、①アケメネス朝で保護され、ササン朝では国教となって經典が編纂された。ヘブライ（ユダヤ）人の間では、唯一神ヤハウェを信じる一神教が生まれ、この神により選ばれたユダヤ人のみが救われるという選民思想や、救世主（メシア）を待望する觀念が生じた。ヘブライ人は前1500年ころパレスチナに定住し、②その後さまざまな民族的危機や契機をへて、ユダヤ教を確立したが、これを母体にして、のちにイエスの教えを説くキリスト教が発展していった。3世紀にはゾロアスター教やキリスト教・仏教を融合した**B**教が生まれ、北アフリカ、中央アジアに広まり、中国にも伝えられた。
- 2 古代ローマ人の宗教は、③古代ギリシア人の神々をうけいれ、ローマ伝来の神々を混合した多神教で、皇帝も神とされた。とくに帝政期になると、皇帝崇拜儀式が強化され、それに従わないキリスト教徒は迫害の対象となった。この迫害はネロ帝の時代から、最後の大迫害を行ったといわれるディオクレティアヌス帝の時代にいたるまで続いた。しかし、**C**年のコンスタンティヌス帝によるミラノ勅令により、キリスト教は公認され、その後は教義論争を繰り返しながらも、ローマの国教となり、教会の組織化が進んだ。④五本山と呼ばれるキリスト教会のうち、ローマ帝国の東西分裂後は西のローマ教会と東のコンスタンティノブル教会が有力となったが、西ローマ帝国の滅亡後は、この二教会の対立がさらに強まった。⑤ビザンツ皇帝が掌握するギリシア正教は、ローマ＝カトリックとは一線を画したキリスト教の教義と文化を確立し、⑥またビザンツ帝国も特有の軍事・行政制度を整備するなどして、15世紀半ばにオスマン帝国に滅ぼされるまで繁栄した。

設問X 文中の空欄 **A** ～ **C** に入る最も適切な語を、a～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- | | | | | |
|---|---------|-------|--------|----------|
| A | a アモン | b アトン | c オシリス | d スフィンクス |
| B | a ヒンドゥー | b マニ | c ジャイナ | d シク |
| C | a 303 | b 308 | c 313 | d 318 |

設問Y 文中の下線部①～⑥に関する次の問いについて、最も適切な解答をa～dの中から一つ選び、その記号を所定欄にマークしなさい。

- ① アケメネス朝について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- アケメネス朝の建国者キュロス2世は、メディア、リディア、新バビロニアを滅ぼして帝国の基礎を築いた。
 - アケメネス朝第2代の王カンビュセス2世は、エジプトを征服して、全オリエントを統一した。
 - アケメネス朝第3代の王ダレイオス1世は、ギリシアとの間にペルシア戦争を起こした。
 - アケメネス朝では、「王の目」「王の道」と呼ばれる監察官を巡察させて、サトラップと呼ばれる州長官の動向を把握し、地方の状況を報告させた。
- ② ヘブライ（ユダヤ）人がユダヤ教を確立するまでの民族的危機や契機について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- ヘブライ人は前13世紀ころ、モーセに率いられてエジプトを脱出したとされる。
 - ヘブライ王国第3代の王ソロモンはイェルサレムにヤハウェの神殿を建てた。
 - 国王ダヴィデの死によって、ヘブライ王国は、北部のイスラエル王国と南部のユダ王国に分裂した。
 - 新バビロニアのネブカドネザル2世は前586年、ユダ王国を滅ぼして、多くの住民をバビロンに強制移住させた。

- ③ 古代ギリシアの神々や神話に関連して述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ギリシア神話は、オリンポス山上にすむ12神を中心とした神話である。
 - b ギリシア神話の神々には、主神ゼウス、太陽神ポセイドン、商業の神ヘルメス、美の神アフロディテなどがいる。
 - c ホメロスは『イリアス』『オデュッセイア』という叙事詩で、トロイア戦争の英雄たちを描いた。
 - d ヘシオドスは『神統記』という叙事詩で、天地誕生以来の神々の系譜を伝えた。
- ④ 五本山のうち、ローマ教会、コンスタンティノーブル教会を除く3つの教会はどこか。次の組み合わせのうちで正しいものを選びなさい。
- a アンティオキア・イエルサレム・ミラノ
 - b アレクサンドリア・アンティオキア・イエルサレム
 - c アレクサンドリア・イエルサレム・ミラノ
 - d アンティオキア・エフェソス・ニケーア
- ⑤ ビザンツ帝国やギリシア正教に関連しておきた事件や事象などが、古いものから年代順に正しく並んでいるものはどれか。
- a ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の完全分裂 → ユスティニアヌス帝による東ゴート王国征服 → 聖像禁止令の発布 → ヘラクレイオス1世の統治
 - b ユスティニアヌス帝による東ゴート王国征服 → ヘラクレイオス1世の統治 → 聖像禁止令の発布 → ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の完全分裂
 - c 聖像禁止令の発布 → ユスティニアヌス帝による東ゴート王国征服 → ヘラクレイオス1世の統治 → ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の完全分裂
 - d ヘラクレイオス1世の統治 → ユスティニアヌス帝による東ゴート王国征服 → ローマ＝カトリック教会とギリシア正教会の完全分裂 → 聖像禁止令の発布
- ⑥ オスマン帝国について述べた次の文の中で、誤っているものはどれか。
- a ルーム＝セルジューク朝の崩壊後、オスマン＝ベイが、オスマン帝国初代の君主となった。
 - b ムラト1世は、コソヴォの戦いで、バルカン半島のスラヴ勢力を破った。
 - c バヤジット1世は、ニコポリスの戦いで、ハンガリー王ジギスムントを中心とする連合軍を破った。
 - d メフメト2世は、アンカラの戦いで、ティムールを破った。

IV

次の文章を図を参照しながら読み、設問X・Yに答えなさい。

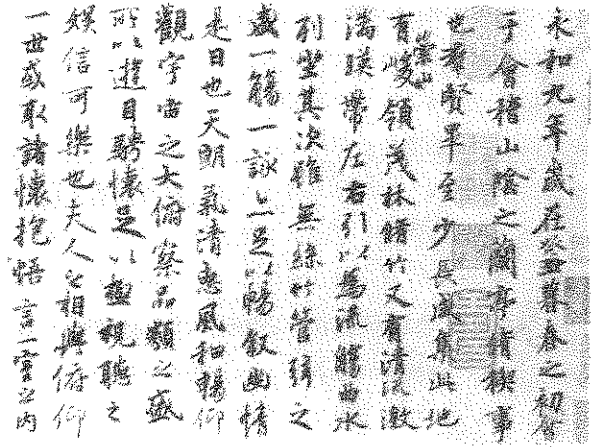
3世紀初から6世紀末に至る中国の分裂時代は魏晉南北朝時代と総称されるが、政治的な混乱のなかで、多様な文化が展開した。江南では九品中正制度の施行によって、豪族の門閥貴族化が促進されたが、そうした貴族が主導する六朝文化が発展した。^①図(1)のような絵画、^②図(2)のような書、あるいは(ア)の「山居賦」などの詩がそれを代表し、また散文では四六駢儷体という対句と韻を用いる華麗な文章が好まれた。北朝では酈道元が著した歴史地理書『(イ)』のような、現実的で実用的な文化が開花した。

仏教が中国社会に根をおろしたのもこの時代であった。華北では4世紀に西域出身の(ウ)、鳩摩羅什らが布教や仏典の漢訳に努め、仏教は多くの人々に受け入れられた。そうしたなかで^③図(3)のような石窟寺院も造営された。敦煌の莫高窟の造営は五胡十六国時代に始まり、14世紀までつづいたが、^④439年に北涼を滅ぼして敦煌を支配下に入れた(エ)の太武帝は、都平城の郊外に石窟寺院を造営し、さらに494年、孝文帝が(オ)に遷都すると、その郊外にも石窟寺院を開鑿した。仏教は江南では特に貴族に受け入れられたが、^⑤南朝梁の武帝は仏教に熱烈に傾倒し、国家財政を破綻させた。

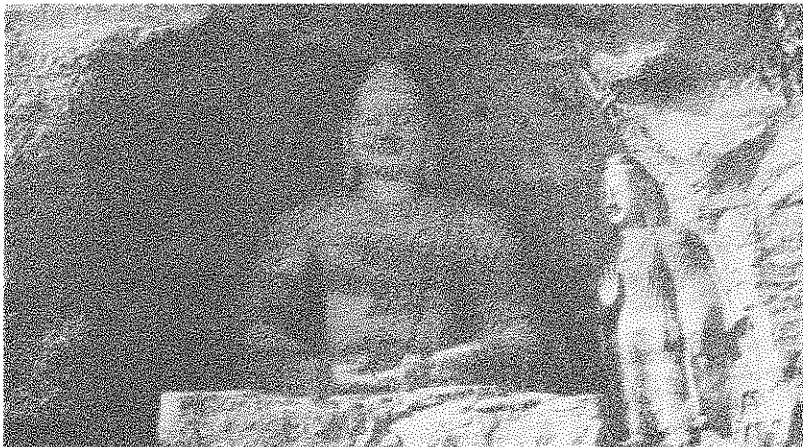
図(1)



図(2)



図(3)



設問X 文中の空欄（ア）～（オ）に入る最も適切な語を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- | | | | |
|-------------|-------|--------|-------|
| （ア） a 欧陽詢 | b 蘇轍 | c 李白 | d 謝靈運 |
| （イ） a 大義覚迷録 | b 水経注 | c 齊民要術 | d 漢宮秋 |
| （ウ） a 慧遠 | b 仏図澄 | c 法顕 | d 寇謙之 |
| （エ） a 北漢 | b 北周 | c 北齊 | d 北魏 |
| （オ） a 開封 | b 成都 | c 洛陽 | d 長安 |

設問Y 文中の下線部①～⑤に関する下記の設問について、最も適切な解答を一つ選び、その記号をマーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

- ① これに関連して、当時、「上品に寒門なく、下品に勢族なし」ということばが盛んにいわれたという。その意味として誤りを含んでいるものはどれか。
- a 地方長官が官吏を推薦する際に、有力豪族の子弟には低い郷品がつけられることはない。
 - b 社会的に無力な低い家柄のものは高い郷品を得ることはない。
 - c 人材を評定する際に、能力よりも家柄によって品階が決まりがちである。
 - d 豪族の高級官職独占をなげいている。
- ② 図（1）の絵画は原本はなくなってしまったが、唐代の模写とされるものが現在、ロンドンの大英博物館に所蔵されている。この絵画の名称はなにか。
- a 桃鳩図
 - b 清明上河図
 - c 女史箴図
 - d 墨竹図
- ③ 図（2）の書の原本は唐代に非常に好まれて模写され、宋代以降、石に刻まれて拓本が作られた。原本は伝存せず、図は北京の故宫博物院に所蔵されている唐代の模写とされているものである。この書の原本の作者のことを説明しているものはどれか。
- a 文人画家でもある書家で、画においては米法山水ともいわれる独自の手法を生んだ。
 - b はじめ王羲之の書を学び、種々の要素をプラスして峻拔で典雅な書風を創り出した。
 - c 力強い書風で、西晋以来の書風を一新し、楷書・草書に新しい書風を開き、また行書にも秀でていた。
 - d 楷書・行書・草書の書体を芸術的に完成させ、「書聖」と称せられる。
- ④ 図（3）は現存する石窟寺院の石仏である。その説明として正しいものはどれか。
- a 山西省大同市郊外の雲崗石窟第20窟の露座大仏で、ここに造られた5万余の仏像のなかの代表的なものである。
 - b 甘肅省敦煌市郊外の莫高窟第275窟に造営された釈迦如来で、日本の仏教美術にも大きな影響を及ぼした。
 - c 河南省洛陽市郊外の伊河兩岸に開鑿された竜門石窟の奉先寺洞の盧舎那仏であるが、孝文帝の姿を写しているといわれている。
 - d 甘肅省天水市郊外の麦積山第44窟の釈迦如来で、東魏文帝の皇后の面影を写したといわれている。
- ⑤ 南朝についての文章として誤りを含んでいるものはどれか。
- a 南朝とは建康に都を置いた宋・齊・梁・陳の4王朝の総称である。
 - b 北朝との境界はしばしば黄河と長江の間の淮河付近であった。
 - c 門閥貴族たちは豊富な水と温暖な気候に恵まれた江南の開発をすすめ、地主となった。
 - d 開発がすすんだ長江下流域では集約的な稲作がおこなわれるようになり、「江浙熟すれば天下足る」ということばもうまれた。

V

以下の文を読み、設問X・Yに答えなさい。解答は全て一つを選び、解答用紙の対応する記号・番号をマークしなさい。

西暦476年の西ローマ帝国滅亡以前から、イタリア半島北・中部は異民族の侵入するところとなっていたが、568年にランゴバルド王国が建設された後も、半島南部および島部は東ローマ（ビザンツ）帝国の支配下にあった。ローマ＝カトリック教会はフランク王国に保護を求め、^①教皇（ A ）は800年、フランク王カールにローマ帝国皇帝の称号を授けた。

イタリア北・中部の諸都市は11世紀までに経済力を蓄え、後にルネサンス文化の精華を生む。しかし、（ B ）の神聖ローマ帝国皇帝はイタリアにしばしば介入し、皇帝派と教皇派の激しい対立をもたらした。

^②1494年、フランス王（ C ）がイタリアに侵入した後、イタリア半島は、フランス、スペイン並びに神聖ローマ帝国など、外部の勢力に席捲され、かなりの地域がスペインの支配下に入った。しかし、スペイン継承戦争後の1714年、（ D ）により、イタリア内の旧スペイン領は、多くがオーストリア＝ハプスブルク家の支配地とされた。

この体制は1748年以降安定し、各地で啓蒙主義的改革が試みられた。ナポレオン支配の時代、また1848～49年の革命期には、イタリアでもナショナリズムが高揚した。1860年のイタリア統一は、^③（ E ）の「青年イタリア」の流れをくむ下からのナショナリズムと、^④サルデーニャ王国首相カヴールを中心とする、^⑤穏健な立憲主義による上からの統一運動の妥協によって成立した。

設問X 文中の（ ）内に入る最適な語を選びなさい。

- | | | | | | | | |
|-----|-----------|---|-------------|---|----------|---|----------|
| A a | レオ3世 | b | インノケンティウス4世 | c | レオ10世 | d | グレゴリウス7世 |
| B a | ザクセン朝 | b | シュタウフェン朝 | c | メロヴィング朝 | d | カロリング朝 |
| C a | フランソワ1世 | b | フランソワ2世 | c | シャルル8世 | d | アンリ4世 |
| D a | カルロヴィッツ条約 | b | アーヘン条約 | c | ラシュタット条約 | d | ハーグ条約 |
| E a | ガリバルディ | b | サモリ＝トゥーレ | c | マッツイーニ | d | サヴィニー |

設問Y 文中の下線部について、以下の問いに答えなさい。

① シチリア島を含むイタリア南部の勢力についての記述として、誤りを含むものを選びなさい。

- シチリア島では9世紀以降イスラーム勢力が優勢であったが、11世紀にはノルマン人が進出し、同世紀末までに全島の支配を確立した。
- 12世紀にノルマン勢力下で成立した両シチリア王国には、異なる文化的伝統に属する人材が集まり、文化が栄えた。王国の首都サレルノにはイタリア最古の大学が作られた。
- 1282年のいわゆる「シチリアの晩鐘」事件は、当時シチリア王であったフランス王弟の支配に対する住民の反乱だった。
- 1816年、スペイン＝ブルボン家の王の下でシチリア王国とナポリ王国は合併され、両シチリア王国となった。

② 神聖ローマ帝国に関する記述として、誤りを含むものを選びなさい。

- 神聖ローマ帝国は962年、皇帝オットー1世の戴冠によって成立した。
- 神聖ローマ帝国の皇帝は選挙で選ばれたが、その選挙制度は、皇帝フリードリヒ3世の金印勅書によって定められた。
- 神聖ローマ帝国の選帝侯は、同時に帝国外の国の国王になることがあった。
- 神聖ローマ帝国の皇帝は、15世紀半ば以降、ほぼハプスブルク家の世襲となった。

- ③ 啓蒙主義はヨーロッパ各地に改革の機運をもたらし、社会全体に大きな影響を与えた。以下のうち、啓蒙主義思想の記述として誤りを含むものを選びなさい。
- 1 啓蒙主義思想の体现者と見なされたヴォルテールは、フランスのみならずドイツやロシアにも影響を与えた。
 - 2 啓蒙主義思想は経済の領域にも適用され、イギリスの古典派経済学やフランスの重商主義を生んだ。
 - 3 『純粹理性批判』で名高いカントは、啓蒙思想を受容しつつ、人間の理性の限界を指摘した。
 - 4 『人間不平等起源論』を著したルソーは、当時の社会における不平等を厳しく批判し、後のフランス革命に深い影響を与えた。
- ④ 1848～49年には、ヨーロッパ各地で革命の動きが見られた。以下のうち、この革命期のできごとの記述として誤りを含むものを選びなさい。
- 1 1848年2月、選挙法改正の要求が拒否されたことをきっかけに、パリで革命が起き、社会主義者を含む臨時政府が樹立された。
 - 2 1848年3月には、ドイツ・オーストリア各地に革命の動きが広がり、プロイセン国王は憲法を發布した。
 - 3 1848年5月、ドイツ諸邦から選出された代表者がフランクフルトに集まり、ドイツ統一と憲法制定を議論した。
 - 4 1848年3月にはウィーンでも民衆が蜂起して、メッテルニヒが失脚し、オーストリア帝国内の民族運動が活発化した。
- ⑤ 以下のうち、サルデーニャ島およびサルデーニャ王国の説明として、誤りを含むものを選びなさい。
- 1 イタリア戦争の結果、サルデーニャ、シチリア、ナポリなどは、スペインの支配を受けることとなった。
 - 2 ナポレオンは1802年、ピエモンテをフランスに併合し、首都トリノを追われたサルデーニャ国王は、サルデーニャ島に逃れた。
 - 3 サルデーニャ国王ヴィットーリオ＝エマヌエーレ1世は1848年、憲法制定を承認した。また、イタリア北部をオーストリアの支配から解放すべく、オーストリアと戦ったが、敗れた。
 - 4 1859年、サルデーニャはオーストリアとの戦いに勝ち、ロンバルディア地方を獲得した。サルデーニャはその翌年、フランスにサヴォイア・ニースを割譲し、フランスはそれを受けて、サルデーニャが中部イタリアを併合することを認めた。

[以下余白]